

備前市事務事業評価表

事務事業名	寺山地区高齢者通院費事業		コード	02-01-04-11
			担当課・係	市民福祉課福祉係
			担当者	藤原弘章
事業実施期間	平成16年～		電話	72-1104
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	高齢者福祉		

事業について	
目的 (何のために)	公共交通手段の無い寺山地区（人口8人）の高齢者等が医療機関において治療を受けやすくする
対象 (誰・何を対象に)	寺山地区に居住する満70歳以上又は身体障害者1、2級、療育手帳A、精神障害者1～3級の方
内容	対象者の方が治療を受ける目的でタクシー等を利用する場合に、その通院交通費の一部（1ヶ月2往復で5,000円以内）を助成する

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
申請者数	3人	2人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	80	国庫補助金等	直接事業費	69	国庫補助金等	直接事業費				
	人件費	352	受益者負担	人件費	475	受益者負担	人件費				
	市債		市債		市債		市債				
合計	432	一般財源等	432	合計	544	一般財源等	544	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.04人	0.05人	
結果指標名	申請者数	申請者数	
結果指標量	3	2	
単位	人	人	
対前年比	-	66.67%	0.00%
活動にかかるコスト	432,000円	544,000円	
単位当たりコスト	144,000円	272,000円	

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	申請者が多いということが、この事業の成果に結びつかないため成果指標は設定しない
成果指標名	式又は説明
成果指標量	
対前年比	
到達目標値	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 備前市日生町寺山地区高齢者等通院交通費助成事業実施要綱	妥当性評価<A~E>	B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	過疎地で遠隔地であるため公共交通機関や自家用車等のない高齢者にとっては有効な事業である	
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	効率性評価<A~E>	B
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	課題認識	
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	事業対象者は過疎化や超高齢化により年々減少傾向にある	
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A~E>	
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成19年度の状況		説明	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了		
目標値	結果指標量	2	結果指標量

総合評価	この事業の対象地区人口は8人で70歳以上がほとんどという超高齢地区であることから、不便な当該地区での事業継続はやむを得ないものとする	評価区分 <A~E>	B
------	--	---------------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果